

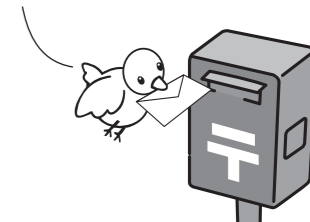
あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Horizontal lines for writing.

イラストも募集しています。広報はがのカットとさせていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Large empty box for illustrations.

あなたの声を聞かせてね！  
お便り待っています！



●芳賀町洪水ハザードマップ  
を見て思うこと

駿河富夫さん  
ハザードマップの過去の災害の記事を見て、昭和61年8月の茂木町の水害を思い出しました。総雨量311・4ミリ、床上・床下浸水311世帯の大災害でした。芳賀町でも被害はありましたが、幸いにも大災害にはならず済みでした。しかし、災害はいつ訪れるかわかりません。「私たちにできる事は何だろうか」と原点に戻って考える時期が来たように思います。「災害は忘れた頃にやってくる」…いつかは起きる可能性のある自然災害への事前の対策が重要です。今回のマップには、災害に備えた心構えなど、役立つ情報が書かれています。災害を「他山の石」と考えずに「自山の石」と考えて、備えをす

れを機に、家族で話し合つのもいいかもしれませんね。皆の知恵と努力で、安全で安心な芳賀町を築き上げたいと思えました。

●政務調査費の内容を掲載し  
てくださーい

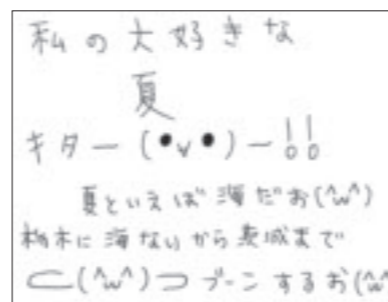
ひまわりさん

「広報はが」と「議会だより」は、私たち町民と行政をつなぐ情報源として大切に読ませていただいております。ちよつと気になった記事がありましたので一言。5月19日発行の議会だよりの最後のページに平成19年度政務調査費について書いてありました。芳賀町にも政務調査費というものがあつたのです。でもこれだけでは、どの議員が何の調査のためにどんな研修をしたのか理解できません。調査や研修旅行のレポートなどを広報紙や議会だよりに出していただければよいのです。ぜひお願いします。

芳賀町議会広報常任委員会  
事務局より

「芳賀町議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。各会派の平成19年度政務調査費の使途については、5月19日発行の芳賀町議会だ

より12号に掲載しました。ご要望の「各会派がどんな研修をしたのか」については、8月発行の芳賀町議会だより124号に平成19年度視察研修報告として掲載する予定です。



▲西水沼 まなたんさん



▲下高根沢 高松イクさん

町長室からー豊田征夫



昔は物が少なかったせいもあるが、人々は「もったいない」という考えで資源を大切にしていた。不要となつた物は、必要とする人へと渡すことで、人と人とのコミュニケーションも図られていた。

それが現代では、限りある資源から作られているはずの物が「必要ない」として家庭や事業所から大量に廃棄され、地球環境を脅かしている。現在の生産・消費・廃棄型の社会経済システムにより、私たちは物質的豊かさや潤いを得たが、その反面、心の豊かさを失っているのかもしれない。町では「環境づくりは人づくり」であるとの基本理念に基づき、町民一人一人のモラルの向上とごみ問題に対する意識を高め、個人から家庭へ、次に地域、そして町全体のごみを減らす活動を広げている。その一環として、資源となる紙類、ビン類、カン類、鉄くずを

分類収集し、回収業者に直接売却した場合、資源物回収団体として申請すると、1kgあたり10円の奨励金を交付をしている。この資源物回収団体の一つである「ひばりカップ実行委員会」は、中学校の父兄を中心に、資源ゴミを収集・売却することにより得た収入で、関東近県の中学校対抗「芳賀ひばりカップソフトテニス研修大会」を開催している。県内外から選手・保護者を含め500人以上が集まり、ソフトテニスの技術の向上とマナーアップ、同時にリサイクルの意識づくりを目的に平成16年からこれまで5回の大会を行っている。

スポーツ団体として先駆的なこの取り組みが、今後さらに広がることを期待している。